【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成28年10月6日(2016.10.6)

【公開番号】特開2015-41318(P2015-41318A)
【公開日】平成27年3月2日(2015.3.2)
【年通号数】公開・登録公報2015-014
【出願番号】特願2013-173052(P2013-173052)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｆ　3/041　(2006.01)
Ｇ０６Ｆ　3/046　(2006.01)
Ｇ０６Ｆ　3/044　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　3/041　３５０Ｃ
Ｇ０６Ｆ　3/046　Ｂ
Ｇ０６Ｆ　3/044　Ｅ
Ｇ０６Ｆ　3/041　３８０Ｈ

【手続補正書】
【提出日】平成28年8月19日(2016.8.19)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
指示体の指示位置座標を検出する座標検出装置であって、該座標検出装置は、
ＸＹ座標軸の一方に沿って複数平行に配置される駆動線と、
ＸＹ座標軸の他方に沿って複数平行に配置される検出線と、
前記駆動線の一端に接続され駆動線に所定の駆動電圧を入力することで駆動線を駆動する駆動回路と、
前記検出線の一端に接続され検出線からの信号を検出し、指示体の指示位置座標を算出する検出回路と、
複数の駆動線の他端に接続され選択的に２本の駆動線が開放からループ状の駆動線となるように接続されるダイオードと駆動線を所定バイアス電位にする駆動線バイアス手段とを用いて構成される駆動線ループ手段と、ループ状の駆動線に電流が流れるように駆動回路に接続する駆動線接続手段と、を含む駆動線選択部と、
複数の検出線の他端に接続され選択的に２本の検出線が開放からループ状の検出線となるように接続されるダイオードと検出線を所定バイアス電位にする検出線バイアス手段とを用いて構成される検出線ループ手段と、ループ状の検出線に流れる電流又は電位差を検出するように検出回路に接続する検出線接続手段と、を含む検出線選択部と、
所定の駆動線及び検出線を駆動回路及び検出回路にそれぞれ順次接続するように駆動線選択部及び検出線選択部をそれぞれ制御すると共に、電磁誘導方式で指示体を検出する際にはループ状の駆動線及びループ状の検出線となるように駆動線バイアス手段及び駆動線選択部並びに検出線バイアス手段及び検出線選択部を制御し、静電容量方式で指示体を検出する際には開放状態の駆動線及び開放状態の検出線となるように、又はループ状態の駆動線及び開放状態の検出線となるように駆動線バイアス手段及び駆動線選択部並びに検出線バイアス手段及び検出線選択部を制御する、制御部と、
を具備することを特徴とする座標検出装置。

【請求項２】
請求項１に記載の座標検出装置において、前記駆動線選択部の駆動線ループ手段は、所定の間隔を空けて奇数番目と偶数番目の駆動線の間にダイオードを接続することでループ状の駆動線となるように機能し、
前記検出線選択部の検出線ループ手段は、所定の間隔を空けて奇数番目と偶数番目の検出線の間にダイオードを接続することでループ状の検出線となるように機能する、
ことを特徴とする座標検出装置。
【請求項３】
請求項１又は請求項２に記載の座標検出装置において、前記制御部は、駆動回路の駆動電圧も制御することを特徴とする座標検出装置。
【請求項４】
請求項１乃至請求項３の何れかに記載の座標検出装置であって、さらに、シート基材を具備し、
前記駆動線及び／又は検出線は、シート基材に配設され、
前記駆動線ループ手段及び／又は検出線ループ手段は、シート基材に設置される、
ことを特徴とする座標検出装置。